

由利海岸波除石垣

秋田県・にかほ市



由利海岸波除石垣は、にかほ市飛地区と芹田地区にまたがる江戸時代に築造された石垣で、本荘藩2万石の助成のもとに築かれたことから地元では「万石堤^{まんごくつみ}」と呼ばれてきた。

築造の目的は、荒ぶる日本海の波浪から海岸を保全するとともに、波浪や強風による塩害から農地や農作物を守り、さらには海岸沿いを走る北国街道の決壊防止と風波を防ぐことにあった。

この石垣は、自然石を積み上げたもので、表面には径30cm～50cm前後の石を用い、内部には小割石や砂利を詰めて築かれており、随所に水抜きを配し、農業用水など背後地の排水に支障をきたさないような配慮がなされている。

築造年代は不明であるが、天明2年(1782年)の石垣の補修に関する助成願いの古文書の写しが残っていることから、少なくとも18世紀後半以前の築造であることが推定できる。

こうした来歴を持つ由利海岸波除石垣は、近世における海岸部の保全や農地開発の歴史を考える上で、類例の少ない貴重な土木遺跡である。

TOPICS

・由利海岸波除石垣は、国指定文化財(史跡)平成9年9月11日に指定

お問い合わせ先

にかほ市教育委員会文化財保護課(象潟郷土資料館内)

TEL / 0184-43-2005

URL / <http://www.city.nikaho.akita.jp/>

【交通】

車 / JR金浦駅から5分

